

板橋区生物多様性に関する基礎調査

(調査結果中間報告概要版)

調査地点及び調査項目等(予定含む)

令和 6 年度の調査として、区内の公園等の 12 地点を対象として実施した。また、調査回数もあわせて記載した。なお、魚類及び底生動物調査に置いては、水域が存在する 6 地点を対象とした。

No.	名称	調査項目と調査回数						
		植物	哺乳	鳥類	両爬	昆虫	魚類	底生
		3回	1回	3回	1回	3回	2回	2回
1	都立城北中央公園	●	●	●	●	●	●	●
2	荒川生物生態園及び周辺	●	●	●	●	●	●ワンド	●ワンド
3	区立赤塚植物園	●	●	●	●	●		
4	区立赤塚溜池公園	●	●	●	●	●	●	●
5	区立赤塚溜池公園内ビオトープ	●	●	●	●	●	●	●
6	区立見次公園	●	●	●	●	●	●	●
7	区立小豆沢公園	●	●	●	●	●		
8	区立成増五丁目公園	●	●	●	●	●		
9	区立板橋東いこいの森	●	●	●	●	●		
10	区立茂呂山公園	●	●	●	●	●		
11	区立西台公園	●	●	●	●	●		
12	サンシティ	●	●	●	●	●	●	●

調査内容

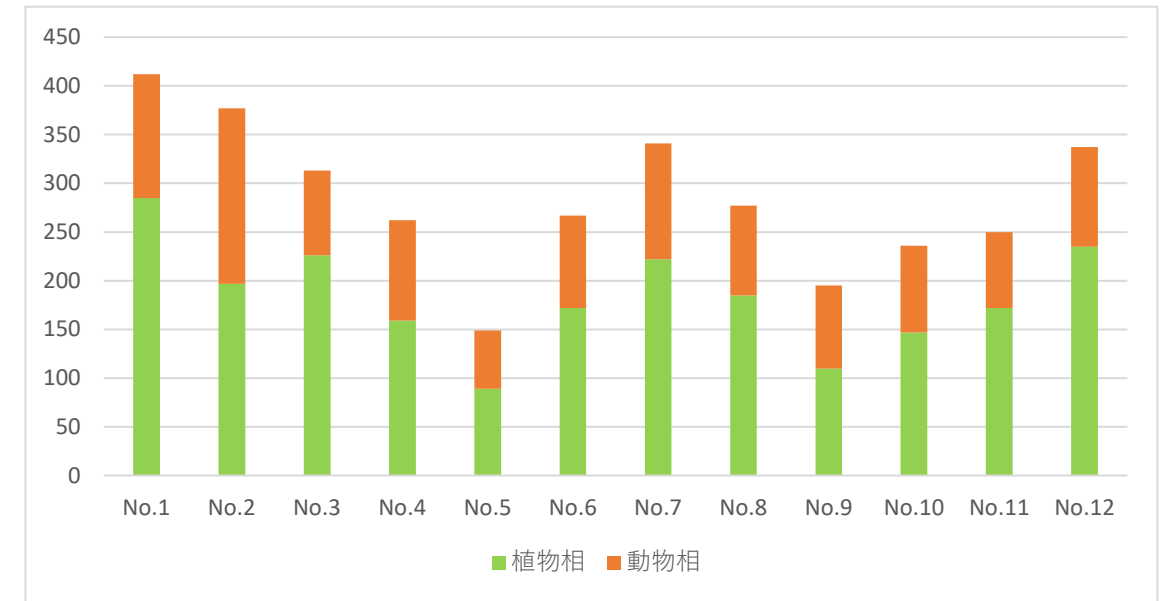
令和 6 年度の調査項目及び実施期間を以下に整理した。

調査項目		調査方法	調査 時期	調査 実施期間
植物	植物相	・ 任意観察調査	春季	5月1日～24日
			夏季	7月1日～9日
			秋季	9月21日～10月1日
動物	哺乳・両生・爬虫類	・ 夜間コウモリ調査 ・ 任意観察調査(目撃・フィールドサイン) ・ 自動撮影カメラ設置(1地点あたり1-2台程度)	初夏	7月2日～7月24日
			秋季	9月17日～9月21日
	鳥類	・ 任意観察調査	春季	4月23日～4月29日
			初夏	6月12日～6月27日
			冬季	12-2月 (予定)
	昆虫類	・ 任意採集調査 ・ ベイトトラップ調査(1地点あたり3箇所程度)	春季	4月23日～4月28日、5月22日、23日
			夏季	7月16日～7月27日
			秋季	10月7日～10月17日
	魚類	・ 任意捕獲調査(タモ網、サデ網等)	春季	5月29日、6月27日、28日
			秋季	11月21日～11月29日 (予定)
	底生動物	・ 任意採集調査(Dフレームネット等)	春季	5月29日、6月27日、28日
			秋季	11月21日～11月29日 (予定)

調査結果

令和6年度の調査の結果、植物相は724種、動物相は334種であった。また、調査地ごとの確認種数(植物と動物の合計値)を以下の図面に整理した。最も多くの種を確認した場所は、「No.1 都立城北中央公園」の412種、次いで「No.2 荒川生物生態園及び周辺」の377種であった。

調査地	全体	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12
植物相	724	285	197	226	159	89	172	222	185	110	147	172	235
動物相	334	127	180	87	103	60	95	119	92	85	89	78	102
昆虫類	254	95	132	72	70	51	67	98	79	75	75	63	78
鳥類	45	25	34	12	23	5	12	15	11	7	11	11	15
哺乳類	6	2	4	1	1	2	2	3	0	1	1	1	1
爬虫類	5	2	2	2	2	1	4	3	2	2	2	3	2
両生類	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
魚類	9	0	3		4	0	4						1
底生動物	13	3	4		3	1	6						4
合計	1058	412	377	313	262	149	267	341	277	195	236	250	337



※本業務以外での撮影写真

重要種

令和6年度の調査において、各分類群で確認された重要種は以下のとおりであった。

最も多く確認された調査地点は、「No.2 荒川生物生態園及び周辺」における28種（植物9種、動物19種）であった。多様な環境がある「No.2 荒川生物生態園及び周辺」では、水域から陸域に徐々に移行するエコトーン帯が存在することで、重要種とされる希少な種が多く見られている。

調査地	全体	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12
植物相	21	1	9	3	0	3	1	3	2	0	1	2	3
動物相	36	8	19	4	8	1	5	5	2	5	2	6	5
昆虫類	3	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0
鳥類	21	5	13	1	4	0	1	2	0	1	0	2	1
哺乳類	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
爬虫類	3	2	1	2	2	1	2	3	2	2	2	3	2
両生類	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
魚類	4	0	2		1	0	0						1
底生動物	3	0	1		1	0	2						0
合計	57	9	28	7	8	4	6	8	4	5	3	8	8



カワセミ



ハグロトンボ



ニホンヤモリ

特定外来生物

令和6年度の調査において、各分類群で確認された外来種は以下のとおりであった。

最も多く確認された調査地点は、「No.2 荒川生物生態園及び周辺」における11種（植物4種、動物7種）であった。河川及び河川敷の連続したみどりの影響で、外部からの移入が多い環境であるため、周辺に侵入した外来種が「No.2 荒川生物生態園及び周辺」でみられるようになるのは必然であり、生物多様性が高い本調査地では、外来種の現生態系への影響を十分な考慮して、今後の分布域・個体数などに注視していく必要がある。

調査地	全体	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12
植物相	5	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
動物相	10	2	7	2	2	1	2	3	1	1	2	2	2
昆虫類	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1
鳥類	2	1	1	1	2	0	0	1	1	1	1	0	1
哺乳類	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
爬虫類	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
両生類	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚類	1	0	1		0	0	0						0
底生動物	1	0	1		0	1	0						0
合計	15	2	11	2	2	1	2	3	2	1	2	2	2



アカボシゴマダラ



ミシシippアカミミガメ



ホンセイインコ